

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	あり
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん かたやまけのうがくきょうまいほぞんざいだん		
制作団体名	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団		
代表者職・氏名	理事長 片山清司		団体ウェブサイトURL
			https://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/
制作団体所在地	〒	605-0088	最寄駅(バス停)
	京都市東山区新門前大和大路東入西之町224番地・225番地		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)
制作団体 設立年月	平成8年6月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 片山清司 理事 井上八千代(京舞・人間国宝) 理事 大倉治彦(月桂冠(株)社長)他3名 別添1「理事・監事・評議員名簿」参照		役員(理事) 6名・監事 2名 評議員 12名・事務局(常勤2名)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	駒井潤
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	駒井潤
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	k-zai@drive.ocn.ne.jp		0755516535

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>観世流片山家は世阿弥が大成した能の伝統を京都で受け継いでいる家柄。明治期に至るまで「禁裏御能(きんりごのう)」と呼ばれる、御所において天皇が主催される能に奉仕するという大役を受け持っていました。明治期に六世片山九郎右衛門と京舞井上流三世家元井上八千代の結婚とともに、一つ屋根の下に「能」と「京舞」という二つの伝統芸能が共存することとなりました。能・京舞の技術的な伝承だけでなく、数多く保存されている能面や能装束なども後世により良い形で残していきたいということもあり、財団法人化への機運が高まり、平成8年6月に財団法人を設立。その後、平成23年6月に京都府より認可を受け、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団となりました。能楽・京舞関係諸資料の収集、保存および公開を行うとともに、能楽・京舞の公演、伝承者の養成等を行い、能楽・京舞の振興と普及に努めています。</p> <p>京都を本拠地にし、全国各地での公演、海外における公演も行っております。</p> <p>京舞井上流四世家元井上八千代、能楽観世流九世片山九郎右衛門(片山幽雪)、京舞井上流五世家元井上八千代の親・子・孫と三代にわたり三人の人間国宝を輩出しています。</p>	
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none">・立命館小学校にて年間を通じて特別授業年約30回、小公演及びワークショップ年2回(平成18年より毎年)・香川県高松市教育委員会の依頼により、高松市内小中学校にて公演及びワークショップ(平成12年より毎年10月、昨年は6校)・同志社中学校能楽鑑賞会にて公演及びワークショップ(平成14年より毎年1回)・京都外国語大学にて特別講義およびワークショップ(平成25年より年2回)・京都大学能楽鑑賞会にて公演(昭和31年より毎年12月)・光華小学校にて公演及びワークショップ(令和7年2月17日実施)・和歌山県教育委員会の依頼にて教員を対象に能楽講習会(令和7年8月8日実施)・高台寺(京都市)にて、修学旅行生(主に中学生、学校単位にて)を対象に臨済宗の法話の後、公演・ワークショップ(平成20年より毎年50校程度)	
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none">・平成27年5月14日岡山県健康の森学園支援学校にてワークショップ・平成27年6月19日岡山県健康の森学園支援学校にて公演(能「大会」)・令和3年11月 9日鹿児島県立鹿児島聾学校にてワークショップ・令和3年11月30日鹿児島県立鹿児島聾学校にて公演(能「舍利」)・令和6年10月15日香川県立聴覚支援小・中学校にて公演・ワークショップ(能「大会」)	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.dh-jac.net/mov/vEmbed/10524	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	不要
		PW:	20240918

別添	あり
----	----

【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	○		
	企画名	～天狗の恩がえし～絵本語りとともに楽しむ 能「大会(だいえ)」					
	企画のねらい	本企画では、見せ場だけを切り取って演目の一部分を実演する半能やダイジェスト版ではなく、演目一曲を通して鑑賞していただきます。舞台上で行われていることを理解するために、ワークショップでは能の出演者と同じ仕舞や謡をお稽古します。公演当日、まずは紙芝居のような形の「絵本語り」を鑑賞し、お話のあらすじが頭に入ります。次にお稽古したことの発表を行います。そして、最後に本物の能を鑑賞しますが、お稽古したところは能の最後のクライマックスの部分です。何度もお稽古したところなので、謡も仕舞も覚えています。「自分たちが一生懸命お稽古し、発表したものは、これだったんだなあ」と理屈ではなく体感し、感動を得ることができます。ワークショップに始まって本公演に至る一連のプログラムを子どもたちに楽しんでもらいます。					
	演目概要・演目選択理由	いたずらがもとで殺されそうになったところを助けてもらった天狗が、恩がえしに何でも望みをかなえましようと言ってお坊さんの前に現れます。欲の無いお坊さんは、「自分は何も望みはないが、お釈迦様が実際にご説法されているところを見たい」と言うとお安いご用」と安請合いしてしまいます。天狗は禁断の秘術を使って、お釈迦様に化けるのですが、はたして天狗の恩返しはうまくいくのでしょうか…。能の曲の中で五番目物という華やかでテンポの良い曲です。豪快で迫力ある演技をお楽しみいただきます。登場するのは、天狗やお坊さんといった親しみやすいキャラクターで子どもたちに受け入れてもらいやすい演目です。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	児童・生徒が能楽師が演じるのと同じ絵の能舞台上に上がり、謡(うたい)と仕舞(しまい)の発表をしていただきます。発表の内容は後で見ていただく能「大会」の一部分にあたるので、自分がお稽古していたことを、能の舞台上で確認していただくことができます。仲間で助け合い、支え合うことによって成り立つということを理解してもらうことにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図れるものと考えます。ワークショップに参加した児童・生徒全員が舞台上に上がり発表することになり、自分たちが取り組んできたことに対して、大きな達成感も味わっていただくことができます。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	100名(舞台上で謡・仕舞を発表)			
			鑑賞人数目安	500名(スペースがあれば500名以上も可)			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目: 能「大会」(従来は世阿弥の作とされてきたが不明) 【プログラム構成】 ※京都から能舞台を運び、体育館を能楽堂に変身させます。 1. 挨拶・本公演の説明(10分) 2. 絵本語り「大会」(15分) …能の絵本「天狗の恩がえし～大会～」(文 片山清司、絵 小田切恵子、発行 アートダイジェスト)の画像をステージ上のスクリーンに映して、能楽師が絵本の朗読をします。後で能をみる時に、この絵本語りが鑑賞の大きな手引きとなります。 3. 児童・生徒による謡(うたい)・仕舞(しまい)の発表(10分) …ワークショップでお稽古した謡と仕舞を、能舞台の上で発表します。 4. 能「大会」鑑賞のための説明(10分) …登場人物がどのような姿で出てくるか、また絵本語りで紹介されたあらすじを確認します。(休憩) 5. 能「大会」鑑賞(35分) …片山九郎右衛門をはじめ能楽界の第一線で活躍する能楽師の至芸を鑑賞していただきます。 6. 質疑応答(10分) …子どもたちの質問に出演の能楽師が直接、回答いたします。 【公演時間90分+休憩】					
	公演時間	90	分				
出演者	観世流片山家十世片山九郎右衛門(かたやまくろうえもん)をはじめ、観世流片山家一門の能楽師を中心に、能楽界の第一線で活躍中のシテ方、ワキ方、囃子方、狂言方が一公演につき17名出演します。 ※出演予定者は、別添2「出演予定メンバー表」の通り。						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	シテ 片山九郎右衛門…観世流能楽師。片山幽雪(九世片山九郎右衛門)の長男。片山定期能楽会を主宰。重要無形文化財総合認定保持者。文化庁芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、京都府文化賞功労賞など受賞多数。 ツレ 味方玄…観世流能楽師。味方健の長男。重要無形文化財総合認定保持者。京都府文化奨励賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞など受賞多数。 ワキ 宝生欣哉…下掛宝生流宗家。宝生閑の長男。重要無形文化財各個認定(人間国宝)保持者。国立劇場伝統芸能伝承者養成能楽(三役)」研修講師。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	17	名	運搬	積載量:	2	t
	スタッフ:	8	名		車 長:	5.5	m
	合 計:	25	名		台 数:	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30～11:00		13:30～15:10	10分	15:10～17:00	17時00分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月
	16日						
	10月		11月		12月		1月
			5日		13日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		34日
<p>(図1・2) 体育館フロアに舞台を設置します。能舞台自体は8m×8m程ですが、役者が舞台に進入するための橋掛かりや、両袖のスペースを入れると幅(間口)13m×奥行き8m程度は必要です。体育館の広さに応じて体育館を横方向に舞台を設営するなど臨機応変に対応します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(図3) 上演の様子(絵本語り)</p>  <p>(図4) 上演の様子(児童・生徒の発表)</p>  <p>(図5・6) 上演の様子(能「大会」)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し							
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団】

ワークショップの
ねらい

お稽古の内容は、本公演で鑑賞する能「大会」の一部分です。自分たちが学び、発表したことが、本物の能の舞台では、どのように展開されるのか、それを確認できるのが本番の公演になります。ただ、ワークショップをするだけ、発表するだけ、公演をみるだけ、というのではなく、ワークショップやその後のお稽古を頑張ってやればやるほど、本公演を楽しむことができ、より深い理解につながっていくという一連のプログラムになっています。実際に、能に初めて触れるという子どもたちも多く、学校の先生方にとっても、よくわからない、難しそう、というイメージを持たれる場合が多いですが、子どもたちと話しをし、伝統的な手法を用いながらも、わかりやすく工夫をしながらお稽古をすることによって、そんなイメージを払拭し、興味、関心を引き出し、子どもたちの豊かな感性を育む場としたいと考えております。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

100名程度まで

ワークショップ
実施形態及び内容

小学校 45分＋休憩＋45分(学校様の時間の2時限分)
中学校 50分＋休憩＋50分(学校様の時間の2時限分)

※ 本公演で鑑賞する能「大会」について、わかりやすく解説をした後、能楽師の丁寧な指導のもと「大会」の謡(うたい)と仕舞(しまい)のお稽古に取り組んでいただきます。ワークショップ実施後、本公演までの期間、発表に向けて児童・生徒に自分たちでお稽古をしていただきます(お手本の映像が入ったテキストDVD有り)。開催校の先生と相談の上、基本的にはワークショップに参加の児童・生徒全員に本番の公演の日に能舞台の上で発表をしていただきます。

【プログラム構成】

1. 能舞台上で演じられる仕舞の映像を見る(5分)
…自分たちが取り組む仕舞・謡の映像を子どもたちに見てもらい、その説明を行い目標を明確にします。
2. 能の歴史や能がどういう芸能なのかを説明(15分)
…室町時代に世阿弥によって大成され650年以上の歴史を持ち、世界無形文化遺産にも登録されている日本の古典芸能がどのようにして伝えられてきたのかを説明します。
3. 能「大会」の謡の体験(小学校10分、中学校15分)
…今回の演目「大会」の謡を能楽師の指導のもと、参加者全員で体験します。
4. 能「大会」の仕舞の体験(10分)
…今回の演目「大会」の仕舞を能楽師の指導のもと、参加者全員で体験します。
5. 能楽師による仕舞「大会」実演(5分)
…自分たちが取り組む仕舞・謡を能楽師が実演をします。
(休憩)
6. 能「大会」の謡と仕舞のお稽古(小学校30分、中学校35分)
…能楽師の指導のもと、謡と仕舞のパートに分かれてお稽古をします。
7. 成果発表(10分)
…お稽古した成果を発表してもらいます。謡にあわせて舞をまうという体験をしていただきます。
8. 能楽師による仕舞「大会」実演(5分)
…本公演で発表をするという目標に向けて、能楽師のお手本を目に焼き付けていただきます。

その他ワークショップに
関する特記事項等

ワークショップでは、能楽師の指導のもと、能「大会」のクライマックスの部分について、子どもたちに謡と仕舞を体験していただきます。そして、本公演までの期間に自分たちでお稽古を続け、能舞台の上で発表していただきます。このように申し上げると、実施校の先生方の中には「そんなことが本当にできるのか」と言われる場合があります。そういった先生の不安を払拭するために、実施校の先生方には極力ご負担をお掛けしないこと、ワークショップの時間で子ども達はしっかり習得できること、また、お稽古については子供たちが自習で、もしくはお友達同士で十分できる内容になっており、必要な教材を用意することを説明し納得していただきます。能は、もともと参加型の芸能であるといわれています。能は、お稽古をすればするほど、舞台を鑑賞する楽しみが増えるのです。

事前学習は必ずしも必要はありませんが、もしされるならば、日本芸術文化振興会製作著作の、ユネスコ無形文化遺産 能楽への誘い <https://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/noh/jp/>をご参照いただければよいと思います。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		100(100A以下でも対応)	A以上
舞台設置面積	間口	8 m		奥行	8 m		
	高さ	10 m					
舞台設置場所	フロア対応	条件なし		学校のステージでの対応		条件が合えば可	
搬入間口の広さ	幅	1.8 m		高さ	1.8 m		
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			不要	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			条件なし	
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m	以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1.7 m		車長	4.7 m		
備考							

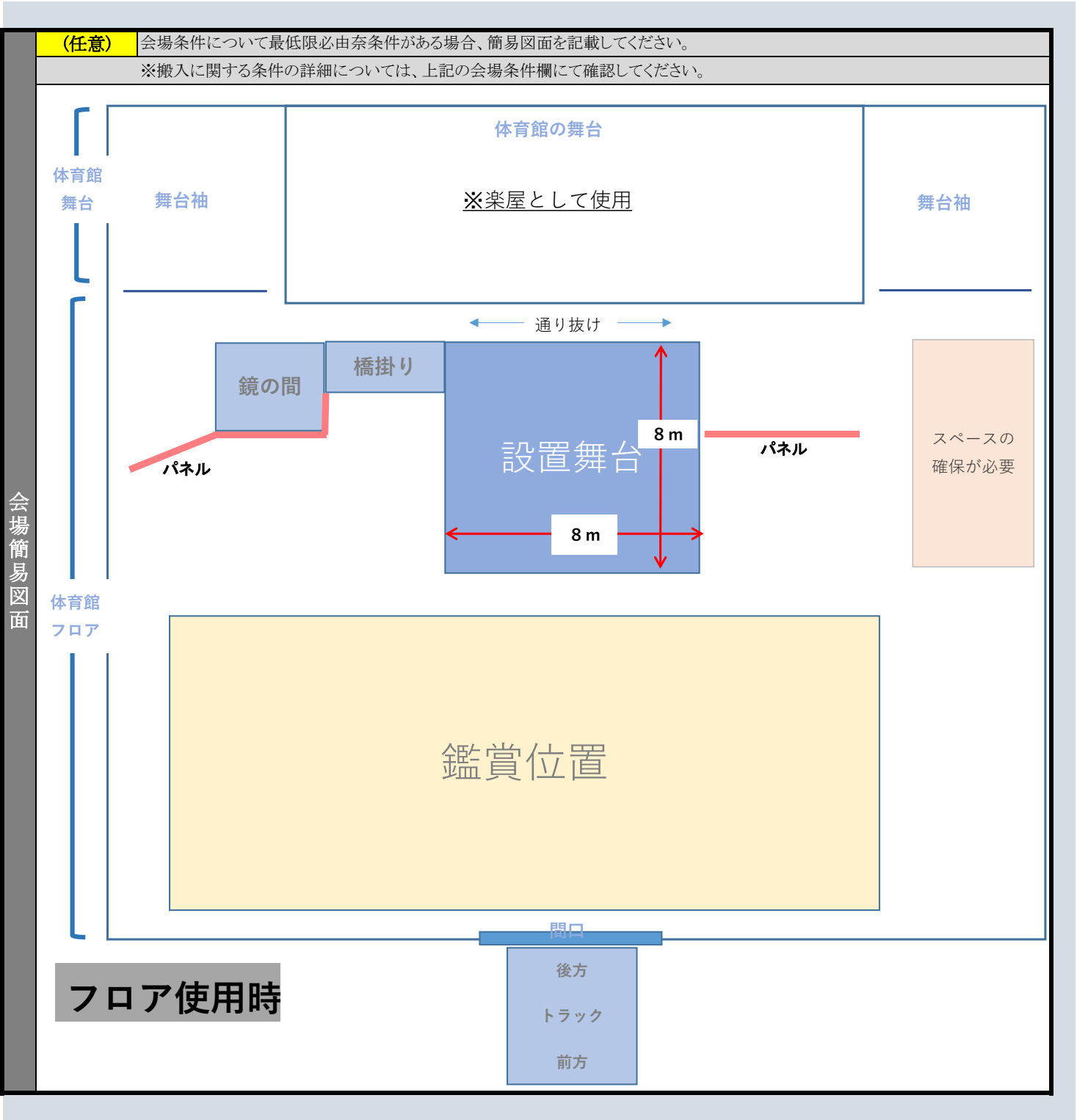
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

日本人の生活の中で古典芸能を楽しむという時間が非常に少なくなっている今日、学校において能の公演やワークショップをさせていただくことは、願ってもない機会であり、学校側にとっても貴重なことだと考えます。能は、ユネスコの世界無形文化遺産の第1回目に宣言され、その文化的価値は誰もが認めるものです。しかし、全く能に縁の無い初心者の方に「これは素晴らしいものなのだ」とそのまま押しつけて、果して、本当に能の良さをわかってもらえるだろうか。そんな疑問から出発し、「ワークショップに始まり、本公演の鑑賞で終わる」という一連の取り組みを考えました。

能楽は室町時代から絶えることなく継承されてきましたが、それは能楽師の技芸の事だけではありません。この大切な能を後世に残そうと努力をした先人たちの思いも同時に受け継がれているのです。そういう意味でも本事業に参加する子どもたちに能を継承するバトンを渡したいと考えています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

本公演は、3部構成になっています。まず第1部では、当財団が制作をしている能の絵本「～天狗の恩がえし～大会」の画像をスクリーンに映して紙芝居のように場面を展開し、絵本の朗読をします。絵本であらずじが頭に入るので、後で本物の能をみていただく時に、この絵本語りが鑑賞の大きな手引きとなり、「子どもに能は難しいのではないか」という不安も解消できます。この「絵本語り」という手法は能の公演を理解するためにたいへん効果的なものであり、今まで実施させていただいた全ての学校で好評をいただいております。第2部では、一生懸命取り組んでいた能「大会」の謡と仕舞の成果を京都から運んだ本格的な能舞台の上で発表という貴重な経験をしていただきます。第3部でプロの能楽師による能「大会」を鑑賞しますが、子どもたちは、自分たちが学び、お稽古をし、発表までしたことが、本物の能の舞台においてどのように展開するのか、ワクワクしながら舞台に注目します。そして最後のクライマックスの部分で「ああ、これだったのだなあ。」と子どもたちの表情が一瞬にして輝きます。このように、能の鑑賞についてもただ観るだけではなく自分たちのやってきたことの最後の確認でもあり、鑑賞後にはそれぞれに達成感を持っていただくことが可能です。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

事業を効果的かつ円滑に実施するためには、学校の先生方のご理解とご協力が必須になります。ワークショップ及び本公演の内容について事前に電話、メール等で綿密に確認をいたします。不明な点については、いつでもお問合せいただけるように実施校決定後、早い段階で当方の担当者名をお伝えし、サポートします。その担当者がワークショップ、本公演にもまいります。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

児童・生徒には、ワークショップで、謡(うたい)と仕舞(しまい)をお稽古し、自主練習を経て本公演の舞台で発表をしていただきます。謡は、大きな声でうたうことが必要であり、仕舞は身体を動かして表現をしなければなりません。やはり、子どもたちには得手、不得手や好き嫌いがあります。しかし、一つの発表をするためには、一人ひとりが何かの役割を持たなければならないということを学校の先生方の協力を得て、子どもたちに理解していただきます。その上で自分たちの役割を決めてもらいます。自分で決めたことなので、一生懸命に取り組んでくださいます。私たちは、長い歴史の中で先人たちが作り上げてきた伝統を心を込めて伝えてまいります。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

学校に映像や音声のデータを教材としてお渡しします。それを使って、お稽古を継続され文化祭などの学校行事で発表をされる学校もあります。もっと、本格的にお稽古を続けたいという場合には、その地域で能を教えている指導者を紹介し、音楽の授業や課外授業を行うこともあります。某県では、本事業を行った後、音楽の先生方に能楽の実技講習をしてほしいという要望があり、県の教育委員会の依頼で毎年、夏休み期間に講習会を実施しているという例もあります。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団 】
項目内容	<div>理事・監事・評議員 名簿</div> <div>【理事・監事】</div> <div>理事(理事長) 片山清司 能楽観世流片山家当主(芸名:片山九郎右衛門)</div> <div>理事 永樂而全 千家十職焼物師十七代</div> <div>理事 大倉治彦 月桂冠(株)代表取締役社長</div> <div>理事 観世三千子 京舞井上流五世家元(芸名:井上八千代)</div> <div>理事 杉浦京子 祇園新地甲部歌舞会総務</div> <div>理事 土田 晃 千家十職袋師十三代(職名:土田半四郎)</div> <div>監事 川端雅彦 税理士</div> <div>監事 山上耕司 弁護士</div> <div>【評議員】</div> <div>評議員 青木道喜 観世流能楽師</div> <div>評議員 石原義清 (株)俵屋吉富代表取締役社長</div> <div>評議員 大垣守弘 (株)大垣書店代表取締役会長</div> <div>評議員 太田 達 (株)老松代表取締役社長</div> <div>評議員 大西祐資 (株)京都新聞社代表取締役社長 主筆</div> <div>評議員 角田潤哉 (株)豆政代表取締役社長</div> <div>評議員 片山伸吾 観世流能楽師</div> <div>評議員 観世安寿子 京舞井上流舞踊家(芸名:井上安寿子)</div> <div>評議員 喜志哲雄 京都大学名誉教授</div> <div>評議員 杉浦宏和 一力亭杉浦家十四代目</div> <div>評議員 鈴鹿且久 (株)聖護院八ツ橋総本店代表取締役会長</div> <div>評議員 福井芳秀 (有)十松屋福井扇舗代表取締役会長</div>	

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団】	
項目内容	出演予定メンバー表		
	シテ(天狗)	片山九郎右衛門	☆
	ツレ(帝釈天)	味方 玄	☆
	ワキ(比叡山の僧)	宝生欣哉	◎
	間狂言(木の葉天狗)	小笠原由祠	☆
	囃子方(笛)	左鴻泰弘	☆
	〃 (小鼓)	吉阪一郎	☆
	〃 (大鼓)	河村 大	☆
	〃 (太鼓)	前川光範	☆
	後見	青木道喜	☆
	〃	大江信行	☆
	〃	大江広祐	
	地謡	古橋正邦	☆
	〃	片山伸吾	☆
	〃	分林道治	☆
	〃	橋本光史	☆
	〃	田茂井廣道	☆
	〃	橋本忠樹	☆
	※上記は出演予定者。☆印は、重要無形文化財総合認定保持者、 ◎印は、重要無形文化財各個認定(人間国宝)保持者です。		